

令和4年3月24日

(公社)全日本トラック協会青年部会
福岡県立八女工業高等学校への整備実習用トラックの寄贈について

全日本トラック協会青年部会（岩田享也部会長）は、3月22日（火）、福岡県筑後市の福岡県立八女工業高等学校（立野秀紀校長）で整備実習用トラックの寄贈式を行った。

整備実習用トラックの寄贈は、平成27年度より青年部会の社会貢献活動の一環として、全国の自動車教育課程を有する高校へ行っており、昨年度まで11校に寄贈している。今年度は自動車教育課程を有する高等学校で組織されている全国自動車教育研究会（全自研）を通じて希望のあった同校（自動車科）に青年部会員の募金を原資に中古トラックを購入し、寄贈した。

寄贈式では、同校より立野秀紀校長をはじめ先生方、自動車科の生徒の皆さんにご出席いただいた。全日本トラック協会からは、岩田享也部会長、九州ブロック代表の永野一智副部会長ほか副部会長3名、車両提供者の福岡県トラック青年協議会 古賀大輔代表幹事、九州地区運輸青年部連絡協議会の役員2名が出席した。

寄贈にあたり、岩田部会長は「みなさんの生活を支える上で、トラックはとても重要な役割を果たしている。トラックに興味を持っていただくとともに、寄贈車両を大いに活用して、エンジンの構造などを学んでいただきたい。」と挨拶を行った。

寄贈を受け、同校の立野秀紀校長は「貴重な車両を寄贈いただき、大変感謝している。生徒が学ぶ環境が整ったので、自動車科の授業で役立てていきたい。」と謝辞をいただいた。



挨拶をする岩田部会長



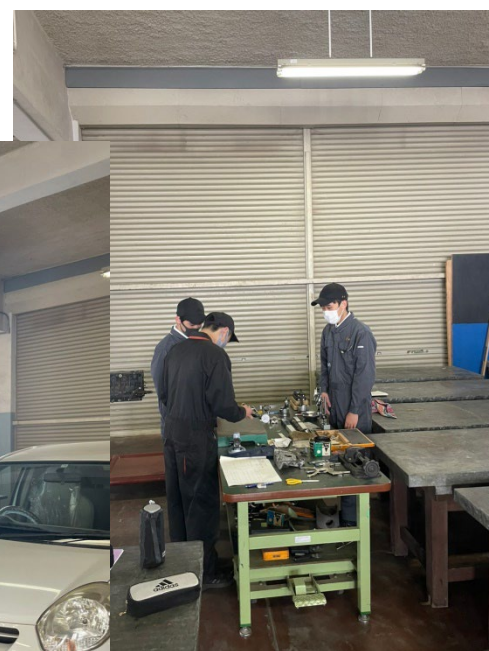
立野校長へレプリカキーを贈呈



寄贈を受け同校の立野秀紀校長より謝辞をいただいた



寄贈車両と記念撮影を行う参加者



自動車研究部の活動の様子